



## 平成21年度省エネルギー改修促進 税制ガイドブック

# エコガラスで 冬暖かく、夏涼しい快適エコライフ

住宅に係る省エネ改修促進税制（省エネ・リフォーム減税）に  
新しく**投資型**が加わりました。

最大、工事費の**10%**が減税されます。

**「窓」**を取りかえることが必須条件です。

板硝子協会

# 投資型省エネ改修減税制度のご案内



エコガラス博士

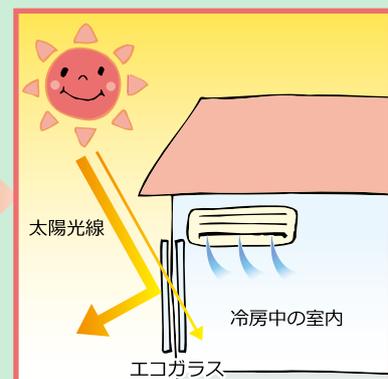
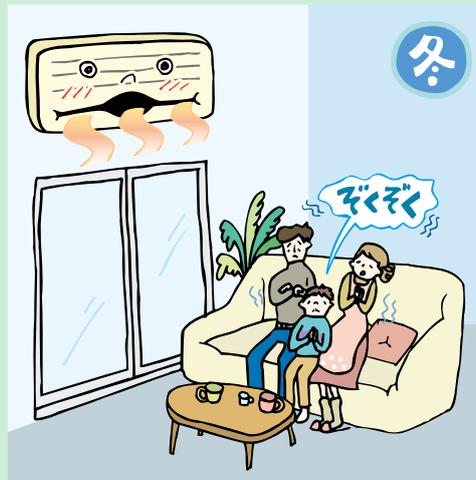
- Q. 省エネ・リフォームにはどんな種類の優遇税制があるのですか？  
⇒省エネ・リフォーム減税の全体概要…………… 3
- Q. 省エネ・リフォームってなんだろう？  
⇒地域ごとに異なる窓の性能…………… 4
- Q. エコガラスに交換する場合、サッシごと変えないといけないの？  
⇒減税の対象となる改修方法の選び方…………… 5
- Q. 地域別にガラスとサッシの組み合わせがあって難しいのでは？  
⇒I～VI地域のガラスとサッシの組み合わせと効果…………… 6
- Q. 手続きが面倒なのではないですか？  
⇒減税の手続きの流れと証明書類…………… 10

この資料では、投資型減税制度を（ローン型1%、固定資産税も基準は準拠）説明していきます。  
ローン型（2%控除）のガイドは2008年発行「既存住宅の省エネ改修促進税制」活用ガイドをご参照下さい。

## エコガラス®の効果

「冷暖房がなかなか効かない」「結露がひどくて拭くのが大変」「結露が原因でカビが生えてしまう」などなど、困っているご家庭は意外と多いようです。

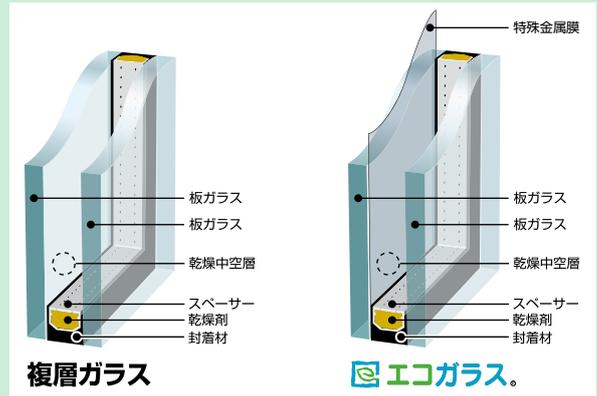
築年数が20年～30年以上経過した住宅では、暖冷房の効率が悪いために、光熱費が高くなっているケースがあります。



# エコガラスの構造

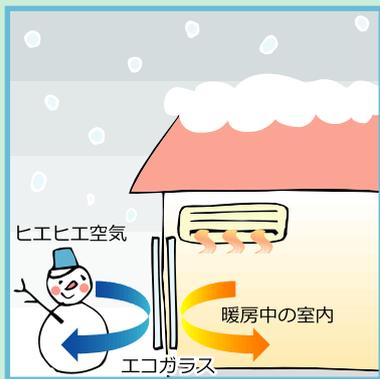
## エコガラスの構造

エコガラスは、2枚のガラスをセットにした複層ガラスの内側に、特殊な金属（Low-E 膜）をコーティングしたものです。ガラスにはさまれた中空層とLow-E膜によって、高い可視光線透過率をもちながら、高断熱性能と優れた遮熱性能を発揮します。1年中室温を快適に保つことができ、暖房や冷房の効率がアップするので、光熱費を抑えながら、CO<sub>2</sub>排出削減にも大きく貢献します。正式にはLow-E複層ガラス、低放射複層ガラスと呼ばれます。



## Low-E 膜のメカニズム

Low-E は、Low Emisivity (低放射) の略です。特殊なコーティング処理（金属及びその酸化物等で構成された非常に薄い膜）により、熱を伝達しにくくする働きをしています。可視光線をほとんど通しながら赤外線、紫外線を大幅に防ぐため、日焼けやインテリアの退色を防いでくれます。



エコガラスにすると、冬はあったかくて夏は涼しいんだね。



冷暖房費を節約できるし、結露防止・防カビ効果も！



冷暖房費を抑え、省エネ効果の高いエコガラスへの改修は所得税控除の対象です。これから優遇税制について詳しく説明しましょう。



それは、お父さんにも耳より情報！  
エコガラス博士、もっと詳しく教えてください。



# 省エネ・リフォーム減税の全体概要



投資型、ローン型ってなんですか？

新設された投資型の減税の場合、自己資金でのリフォーム費用の10%がその年の所得税から減税されます。ローン型の場合は、5年間、ローン残高の1%、または2%が減税されます。



	控除率	控除期間	改修後の居住開始日
<b>投資型</b>	<b>10%控除対象</b> 限度額200万円まで 注)を参照 ※4併せて太陽光発電装置を設置する場合は300万円	1年  工事を行った年分のみ適用	平成21年4月1日 ～ 平成22年12月31日

注) 控除対象限度額とは、30万円を超え200万円を上限として「実際に改修に要した費用の額」と次の表に示す「改修に係る標準的な工事費用相当額」のいずれか少ない方の金額のことで、この金額を基に所得税が10%控除されます。

種類	形式	申請方法	改修後の居住開始日	控除期間	控除率または軽減額	適用基準			控除対象額 (下記限度額金額および標準的な工事費用相当額*4とれた金額を越えないと)	適用範囲 ◎必須、○選択			併用の可否 ×併用不可					
						平成11年基準仕様*1	現状より1段階相当上*2	住宅全体が平成11年基準*3		窓	壁・床・天井	太陽光発電	投資型	ローン型	固定資産税	バリアフリー	耐震改修	
所得税	投資型	確定申告 (工事証明書*5)	H21/4/1～H22/12/31	1年(工事を行った年のみ適用)	工事費用の10%	○			工事費用の30万円超200万円まで(太陽光発電設置は300万円まで)	◎	○	○	×	○	○	○	○	○
	ローン型	確定申告 (工事証明書*5)	H20/4/1～H25/12/31	5年	2% 年末残高の 1% 年末残高の				30万円超200万円まで* 上記*と合計で1000万円まで	◎	○	○	×	○	○	○	○	○
固定資産税		工事後3か月以内に市区町村に申請(工事証明書*6)	改修を行う時期 H20/4/1～H22/3/31	1年間	(120㎡相当分まで)	○			工事費用の30万円以上	◎	○	○	○	○	○	○	×	(1年間)

\*1: 仕様基準を適用「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する設計・施工及び維持保全の指針(国土交通省告示第378号(H18.3.27))」  
 \*2: 改修後の住宅全体の省エネ性能が1段階相当上がる  
 \*3: 改修後の住宅全体の省エネ性能が平成11年基準相当に上がる  
 \*4: 標準的な工事費用相当額とは、改修工事の種類毎に標準的な工事費用の額として定められた単価に、当該改修工事を行なった床面積等を乗じて計算した金額、  
 \*5: 建築士等が証明する増改築等工事証明書(税務署に確認のこと)  
 \*6: 建築士が証明する熱損失防止改修工事証明書(市区町村に確認のこと)  
 \*7: 平成21年4月1日より平成22年12月31日の間は、特定の省エネ改修工事以外の部分については、\*2の要件を除外し\*1とする。  
 \*8: 改修に係る標準的な工事費用相当額の表(→P.9)

# 地域ごとに異なる窓の性能



ここからは投資型について説明します。平成11年基準に合ったエコガラスを選ぶことがポイントです。

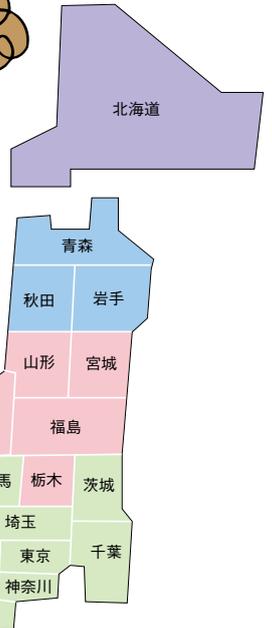
わが家に合った省エネ改修減税のタイプはどれかしら？



## 省エネ・リフォーム減税を受けられる窓改修

**ポイント** 平成11年(仕様)基準の窓を選ぶ

- I 地域
- II 地域
- III 地域
- IV 地域
- V 地域
- VI 地域



### 熱貫流率の基準値 (U値)

地域の区分	I	II	III	IV	V	VI
U値 (W/(m <sup>2</sup> K))	2.33	3.49	4.65	真北±30度 0.6		その他の方位 0.4

\*各記載の数値以下のものとなります



地域によって省エネ・リフォーム減税の対象になるガラスやサッシのタイプが違ふんだ。わが家に合ったエコガラスとサッシはどれかな…？なんだからよくわからないよ、博士～！



はいはい、それじゃ、次から具体的に選び方を説明しますよ。



### 地域別基準値(上記表)に適合するサッシ構造とガラス構成の組み合わせ

ガラス構成 サッシ構造	ガス入り Low-E 複層ガラス (3+as12+3)	Low-E 複層ガラス (3+as12+3)	Low-E 複層ガラス (3+as6+3)	複層ガラス (3+as12+3)	複層ガラス (3+as6+3)	単板ガラス (3ミリ)
木または プラスチック製	I 地域 II 地域	I 地域 II 地域	III 地域	III 地域	III 地域	—
複合構造	I 地域 II 地域	I 地域 II 地域	III 地域	III 地域	IV 地域 V 地域	—
金属製 熱遮断構造			III 地域	III 地域	IV 地域 V 地域	—
アルミ					IV 地域 V 地域	VI 地域*

\*市区町村により省エネ地域区分は異なります。 <http://www.ibec.co.jp/horei/kankeishiryo/4-1.pdf>

\*as: 空気層の厚み(ミリ) \*VI地域のみ、日射侵入率で規定される

## エコガラス®はどうやって見分けるの？

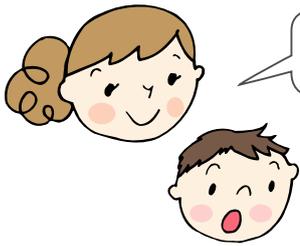
### 窓・サッシ・ガラスの省エネ等級表示 ガラスの表示例



	最高位	第2位	第3位	第4位
ラベル				
断熱区分 (W/m <sup>2</sup> )	2.33 以下	2.33 ~ 2.70	2.70 ~ 4.00	4.00 超
JIS 断熱	U3-2	U3-1	U2・U1	—
該当商品	Low-E 複層 (as12)	Low-E (as6)	透明複層	単板

エコガラスなのか、ふつうのガラスなのか、見ただけではわかりにくいので、「省エネ建材等級(ガラス)」シールの上部にエコガラスのロゴマークを表示しています。このシールを見れば、エコガラスか一目瞭然です。これは、省エネ法(エネルギー使用の合理化に関する法律)で決められている「一般消費者への窓・ガラス・サッシそれぞれの断熱性に係る品質情報提供のための表示」に従ったものです。

# 減税の対象となる改修方法の選び方

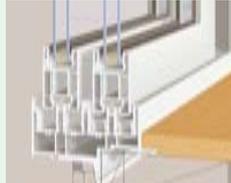
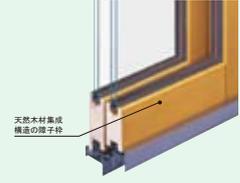


窓ガラスの省エネ・リフォームでは、サッシはどうなるの？

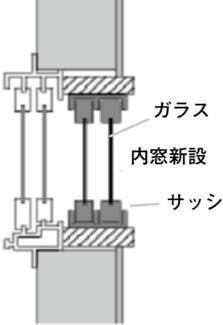
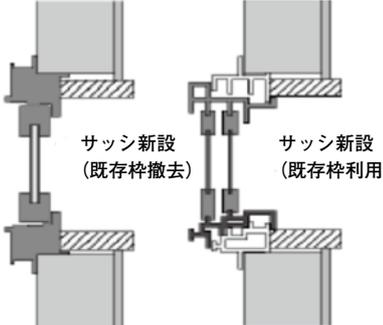
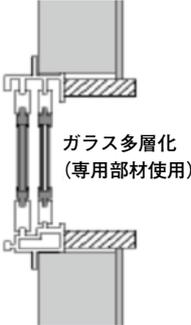
うちのサッシはなんだろう？

なかなか目の付け所が鋭いね、まずは自分の家にはどんな窓がついているか見てみよう



金属製 (アルミ) サッシ	プラスチックと金属との複合材料製サッシ	金属製 熱遮断構造サッシ	プラスチック製サッシ	木製サッシ
				
複層ガラスをセットできる広いガラス溝を持つスタンダードな単板用または複層ガラス用アルミ製サッシ。	室外側にアルミ、室内側に樹脂を採用したアルミ樹脂複合構造の断熱窓。室内の結露を防ぐ。	アルミ型材を外部と内部に分割して中間を樹脂製部材で連結し、外部の熱を伝えにくくした構造のサッシ。	熱伝導率がアルミの1000分の1の樹脂製で、熱を伝えにくいので、寒冷地に普及している。	木材は熱伝導率がアルミの1750分の1。外部は耐久性の高いアルミ等の金属と複合させたものもある。

## 窓の改修方法は3つから選択

	(イ) 内窓を新設する	(ロ) サッシを更新する	(ハ) ガラスを交換する
	既存サッシ内側にサッシを新設する方法	既存サッシを取り除き新たなサッシを更新する方法	既存サッシを利用してガラスを多層化する方法
改修方法			
省エネ効果	◎	◎	○
工期*	1~2日	1週間	1~2日
工法	内側の木製窓枠に取り付けるので早く簡単にできる。二重窓となるのでカーテンBOXなどとの干渉注意。	複層ガラス用の断熱サッシと組み合わせれば、より省エネ効果が高くなります。既存のサッシを撤去するので内外装の撤去・修復も発生する場合がある。	既存サッシ枠を利用してガラスのみ交換するので簡単にできる。戸車・網戸・クレセントなどの不具合に注意



サッシごと替えるとなると、1週間もかかるので、ちょっと面倒な気がします。

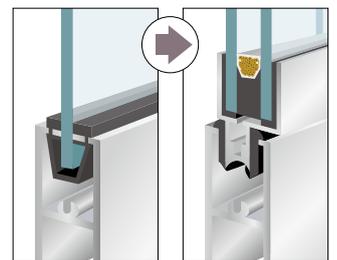


ガラスだけを取り替えてもあまり省エネ効果はないの？

\* 標準的な戸建住宅 (床面積 120㎡) の居室の窓すべてを改修した場合の参考工期



窓ガラスを取り換えるだけでも、かなりの省エネ効果があります。また、サッシはそのまま、ガラスだけを交換できるアタッチメントがあるので、現在お使いの窓でも簡単にエコガラスに交換することができますよ。  
自宅の窓の種類がわかったら、どんなリフォームが効果的か、減税の対象になるか、など専門家に聞いてベストな方法を選びましょう。



アタッチメント付き複層ガラス

# I・II地域のサッシ・ガラスの組合わせ



改修の種類	改修前		改修後		
	既存サッシの種類	既存のガラス	サッシの種類	ガラス品種	
(イ) 内窓を新設する	木・樹脂	普通複層 (as12)	内窓	木・樹脂 アルミ	単板
			内窓	木・樹脂	
	内窓	アルミ	普通複層 (as12)		
(ロ) サッシを更新する	アルミ	単板	内窓	アルミ	Low-E 複層 (as12)
			既存のサッシを撤去する	木・樹脂サッシ	Low-E 複層 (as12)
			既存のサッシを撤去する	アルミ複合	Low-E 複層 (as12)

お住まいの地域によって、窓ガラスのタイプが異なります。板硝子協会のウェブサイトの「エコガラスシミュレータ」で、地域別・住宅タイプ別の費用や省エネ効果のシミュレーションができます。  
<http://www.ecoglass.jp/simulation/>



※1 この表の仕様例から算出される熱貫流率と同等以下（それ以上の性能のもの）の組み合わせであれば、仕様例以外のガラスの組み合わせも使用することができます。  
 ※2 表中の as12 とは空気層 12 ミリ、as6 とは空気層 6 ミリのことです。  
 ※3 複合とはアルミと樹脂（または木）の複合サッシをいいます。

## 北海道の戸建住宅の場合

**CO<sub>2</sub>排出削減量**  
 重量**1102.7 kg**/年  
 ぶなの木**101本分**/年

**暖冷房費用削減額**  
**43,840円**/年  
 10年間の使用で**438,400円**削減できます。

北海道の戸建住宅では通常の複層ガラスからエコガラスに改修することで、CO<sub>2</sub>と暖冷房費がこれだけ削減できます。

## 北海道の集合住宅の場合

**CO<sub>2</sub>排出削減量**  
 重量**227.3 kg**/年  
 ぶなの木**21本分**/年

**暖冷房費用削減額**  
**15,957円**/年  
 10年間の使用で**159,570円**削減できます。

北海道の集合住宅では通常の複層ガラスからエコガラスに改修することで、CO<sub>2</sub>と暖冷房費がこれだけ削減できます。

### 省エネ・リフォームの工事費用

**90 ~ 125万円** / 一戸当たり

北海道の戸建住宅では通常の複層ガラス窓から省エネ・リフォームする際にはこれだけの費用がかかります。

### 省エネ・リフォームの工事費用

**35 ~ 70万円** / 一戸当たり

北海道の集合住宅では通常の複層ガラス窓から省エネ・リフォームする際にはこれだけの費用がかかります。

暖冷房削減量の算出根拠：板硝子協会発行「住宅窓の断熱化による省エネルギー効果—Low・E複層ガラスによるCO<sub>2</sub>排出削減—」(SMASHによるシミュレーション計算結果)平成15年3月により、13都市において試算された暖冷房付削減量を、暖房負荷の場合：灯油価格/33.0×0.7÷従量電灯料金/7.2×0.3(円/MMJ)、冷房負荷の場合：従量電灯料金/10.8(円/MMJ)の係数を換算。灯油価格は石油情報センター2006年12月の調査結果に基づいて、また、従量電灯料金は各電力会社の2007年2月における120〜300kWh使用時の単価により、それぞれ設定し直している。  
 本シミュレータでは、13都市において試算された暖冷房負荷削減量を下記区分で採用。  
 札幌…北海道(森岡・青森・秋田・岩手/仙台・宮城・山形・福島/前橋・茨城・栃木・群馬・山梨・長野/東京・東京・埼玉・千葉・神奈川/富山…新潟・富山・石川・福井/名古屋…岐阜・静岡・愛知・三重/大阪…滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良、和歌山/広島…鳥取・島根・岡山・広島・山口/高松・徳島・香川・高知・愛媛/福岡…福岡、佐賀・長崎・熊本・大分/鹿児島…宮崎、鹿児島/那覇…沖縄※算出時に必要な床面積は、板硝子協会調査の全国平均値(戸建住宅131・集合住宅85)を使用。  
 交換時の工事費用(材工)は、P.9記載の標準的な工事費用相当額を元に算出しています(標準的な費用×床面積)。対象床面積は、集合住宅は30〜60㎡、戸建住宅は75〜105㎡と想定。I〜III地域については内窓新設。IV・V地域はガラス交換。  
 お住まいの地域によって、窓ガラスのタイプが異なります。板硝子協会のウェブサイトの「エコガラスシミュレータ」で、地域別・住宅タイプ別の省エネ効果のシミュレーションができます。http://www.ecoglass.jp/simulation/  
 CO<sub>2</sub>削減量の算出根拠：CO<sub>2</sub>削減量(kg)は、板硝子協会発行「住宅窓の断熱化による省エネルギー効果—Low・E複層ガラスによるCO<sub>2</sub>排出削減—」(SMASHによるシミュレーション計算結果)平成15年3月により都道府県ごとに試算されたCO<sub>2</sub>排出削減量を採用。ぶなの木の木数は、前述のCO<sub>2</sub>排出削減量をぶなの木一本が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量11kg(独立行政法人森林総合研究所 試算)で割り算出。算出時に必要な床面積は、総務省調査の値をもとに都道府県ごとの住宅全体の平均床面積を住宅形態別の全国平均床面積の比で補正した値を使用。  
 ※この価格は、あくまでも目安としての参考の価格であり、実際に特定の戸建住宅を改装した場合と異なる場合があります。また、工事費用(材工)を保証するものではありません。実際の工事費用はお近くの販売店・工事店にお問合せください。

# 皿地域のサッシ・ガラスの組合わせ



改修の種類	改修前		改修後		
	既存サッシの種類	既存のガラス	サッシの種類		ガラス品種
(イ) 内窓を 新設する	アルミ	普通複層 (as6)	内窓	アルミ	単板
	アルミ	単板	内窓	アルミ	普通複層 (as6)
	アルミ	単板	内窓	木・樹脂	単板
(ロ) サッシを 更新する	既存のサッシ を撤去する		アルミ複合		普通複層 (as12)
			アルミ複合		Low-E 複層 (as6)

※1 この表の仕様例から算出される熱貫流率と同等以下（それ以上の性能のもの）の組み合わせであれば、仕様例以外のガラスの組み合わせも使用することができます。

※2 表中のas12とは空気層12ミリ、as6とは空気層6ミリのことです。

※3 複合とはアルミと樹脂（または木）の複合サッシをいいます。

エコガラスシミュレーターでお住まいの地域の暖冷房費の削減効果とCO<sub>2</sub>削減効果をシミュレーションしてみよう。  
<http://www.ecoglass.jp/simulation/>



## 宮城県の戸建住宅の場合

CO<sub>2</sub>排出削減量  
重量**786.2** kg/年  
ぶなの木**72**本分/年

暖冷房費用削減額  
なんと! **74,092**円/年  
10年間の使用で**740,920**円削減できます。

宮城県の戸建住宅では通常の単板フロートガラスからエコガラスに改修することで、CO<sub>2</sub>と暖冷房費がこれだけ削減できます。

## 宮城県の集合住宅の場合

CO<sub>2</sub>排出削減量  
重量**287.0** kg/年  
ぶなの木**27**本分/年

暖冷房費用削減額  
なんと! **26,459**円/年  
10年間の使用で**264,590**円削減できます。

宮城県の集合住宅では通常の単板フロートガラスからエコガラスに改修することで、CO<sub>2</sub>と暖冷房費がこれだけ削減できます。

### 省エネ・リフォームの工事費用

**60 ~ 85 万円** / 一戸当り

宮城県の戸建住宅では通常の単板ガラス窓から省エネ・リフォームする際にはこれだけの費用がかかります。

### 省エネ・リフォームの工事費用

**25 ~ 50 万円** / 一戸当り

宮城県の集合住宅では通常の単板ガラス窓から省エネ・リフォームする際にはこれだけの費用がかかります。

※CO<sub>2</sub>削減量の算出根拠および暖冷房削減額の算出根拠はP6同様です。  
 ※この価格は、あくまでも目安としての参考の価格であり、実際に特定の戸建住宅を改装した場合と異なる場合があります。また、工事費用（材工）を保証するものではありません。お近くの販売店・工事店にお問合せください。

## IV・V地域のサッシ・ガラスの組合わせ



改修の種類	改修前		改修後		
	既存サッシの種類	既存のガラス	サッシの種類		ガラス品種
(イ) 内窓を 新設する	アルミ	単板	内窓	アルミ	単板
(ロ) サッシを 更新する	<b>既存のサッシ を撤去する</b>		アルミ		普通複層 (as6)
(ハ) ガラスを 交換する	アルミ	単板	<b>既存の サッシを 利用する</b>		普通複層 (as6) Low-E 複層 *1 (as6)

IV・V地域のみならず、同じ改修をするなら省エネ効果の大きいエコガラスにしてみませんか。普通複層なら▲25%ですが、エコガラスなら▲37%の年間暖冷房費の削減ですよ。



※1 この表の仕様例から算出される熱貫流率と同等以下（それ以上の性能のもの）の組み合わせであれば、仕様例以外のガラスの組み合わせも使用することができます。

※2 表中のas12とは空気層12ミリ、as6とは空気層6ミリのことです。

※3 複合とはアルミと樹脂（または木）の複合サッシをいいます。

### 東京都の戸建住宅の場合

CO<sub>2</sub>排出削減量  
重量**265.5** kg/年  
なんと!  
ぶなの木**25**本分/年

暖冷房費用削減額  
なんと!  
**51,572**円/年  
10年間の使用で**515,720**円削減できます。

東京都の戸建住宅では通常の単板ガラスからエコガラスに改修することで、CO<sub>2</sub>と暖冷房費がこれだけ削減できます。

### 東京都の集合住宅の場合

CO<sub>2</sub>排出削減量  
重量**197.6** kg/年  
なんと!  
ぶなの木**9**本分/年

暖冷房費用削減額  
なんと!  
**17,171**円/年  
10年間の使用で**171,710**円削減できます。

東京都の集合住宅では通常の単板ガラスからエコガラスに改修することで、CO<sub>2</sub>と暖冷房費がこれだけ削減できます。

#### 省エネ・リフォームの工事費用

**50 ~ 70 万円** / 一戸当たり

東京都の戸建住宅では通常の単板ガラス窓から省エネ・リフォームする際にはこれだけの費用がかかります。

#### 省エネ・リフォームの工事費用

**20 ~ 40 万円** / 一戸当たり

東京都の集合住宅では通常の単板ガラス窓から省エネ・リフォームする際にはこれだけの費用がかかります。

※CO<sub>2</sub>削減量の算出根拠および暖冷房削減額の算出根拠はP.6同様です。

※この価格は、あくまでも目安としての参考の価格であり、実際に特定の戸建住宅を改装した場合と異なる場合があります。また、工事費用（材工）を保証するものではありません。お近くの販売店・工事店にお問合せください。

# VI地域のサッシ・ガラスの組合わせ



改修の種類	改修前		改修後		
	既存サッシの種類	既存のガラス	サッシの種類	ガラス品種	
(ハ) ガラスを交換する	アルミ	既存のサッシを利用する	北側	アルミ	遮熱複層 (as6)
					熱線反射 (2,3種)
			東西南側	アルミ	遮熱複層 (as6)
					Low-E 複層 (as6)
		熱線反射 (3種)			

沖縄県は、ガラスの日射侵入率で規定されるよ。



- ※1 この表の仕様例から算出される日射侵入率と同等以下（それ以上の性能のもの）の組み合わせであれば、仕様例以外のガラスの組み合わせも使用することができます。
- ※2 表中のas12とは空気層12ミリ、as6とは空気層6ミリのことです。
- ※3 複合とはアルミと樹脂（または木）の複合サッシをいいます。
- ※4 遮熱複層ガラスとは、熱線吸収ガラスまたは熱線反射ガラスを組み込んだ複層ガラスのことをいいます。
- ※5 熱線反射ガラス（2種）とはJIS R 3221-2002 熱線反射ガラスにより、η値0.55以下、同（3種）とはη値0.40以下のものをいいます。

## 標準的な工事費用相当額について

実際にかかった改修工事費用（見積書／領収書等）

どちらか少ないほう

改修に係る標準的な工事費用相当額（下表\*）

=

控除対象限度額

≤ 200万円（30万円超）  
（太陽光設置は上限300万円に増額される）

控除対象限度額とは、30万円を超え200万円を上限として「実際に改修に要した費用の額」と次の表に示す「改修に係る標準的な工事費用相当額\*」のいずれか少ない方の金額のことで、この金額を基に所得税が10%控除されます。

改修に係る標準的な工事費用相当額*		
	改修工事の内容	単位あたりの金額 (円/床面積あたり)
イ	内窓の新設【Ⅰ・Ⅱ地域】	12,000
	内窓の新設【Ⅲ～Ⅴ地域】	8,000
ロ	サッシ更新【Ⅰ～Ⅲ地域】	19,600
	サッシ更新【Ⅳ・Ⅴ地域】	16,000
ハ	ガラス交換【Ⅳ～Ⅵ地域】	6,600

\*この価格に、改修対象の居室等の床面積を乗じます。

### 関連告示等

告示第4号（省エネ改修に係る標準的な工事費用相当額を定める告示）  
告示第379号（省エネ改修に係る工事要件を定める告示（所得税））【投資型】  
告示第381号（省エネ改修に係る工事要件を改正する告示（固定資産税））

告示第387号（増改築等工事証明書を改正する告示）  
告示第380号（省エネ改修に係る工事要件を改正する告示（所得税））【ローン型】

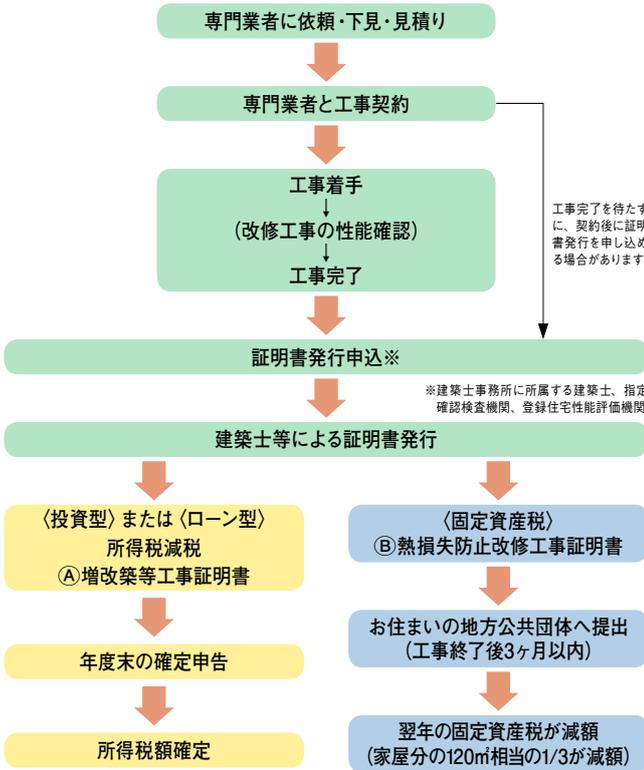
### 参考資料

住宅の省エネルギーフォーム税制の手引き（財建築環境・エネルギー機構）

<http://www.ibec.or.jp/kousyu/tebiki.pdf>

# 減税の手続きの流れと証明書類

## 申告手続き



## 熱損失防止改修工事証明書

証明申請者	住所	氏名
家屋番号及び所在地		
工事の種別及び内容	必須となる改修工事	窓の断熱性を高める改修工事
	上記と併せて行った改修工事	1 天井等の断熱性を高める改修工事 2 壁の断熱性を高める改修工事 3 床等の断熱性を高める改修工事
	工事の内容	
熱損失防止改修工事を含む工事の費用の額(工事費)		円
上記のうち熱損失防止改修工事の費用の額		円
上記の工事が地方税法附則第15条の9第9項に規定する熱損失防止改修工事に該当することを証明します。		
平成 年 月 日		
建築基準適合判定資格者	一級建築士又は木造建築士の別	(二級建築士又は木造建築士の場合)
	建築基準適合判定資格者の場合	登録番号 登録を受けた地方整備局等名
登録住宅性能評価機関が証明を行った場合の調査を行った建築士又は建築基準適合判定資格者	氏名	
	住所	
建築士の場合	一級建築士又は木造建築士の別	登録番号
	建築基準適合判定資格者	登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)
建築基準適合判定資格者	合格通知日付又は合格証書日付	
	合格通知日付又は合格証書番号	

見本

### 熱損失防止工事証明書発行に必要な書類【固定資産税】

- ①申請住宅の所在地が確認できる書類(例:登記事項証明書、固定資産税の課税証明書)
  - ②改修部位について新たに現行の省エネ基準以上の省エネ性能となる改修工事が行われたことが確認できる書類(例:設計図書、工事前後の写真)
  - ③省エネ改修の工事費用の額が30万円以上であることの証明できる書類(例:省エネ改修工事費用の領収書)
- ※書類上確認できる場合は、現地調査は必ずしも必要としない(例:改修部位が平成11年基準以上となったことが確認できる書類、設計図書および改修前後の当該部位の写真)

### 固定資産税減額に必要な書類の例※

※固定資産税を納入している市区町村により異なる場合があります。納税先の窓口にお問い合わせください。

- ①固定資産税減額申告書、②熱損失改修工事証明書、③住民票の写し、④建築士免許の写し、⑤家屋平面図、⑥その他必要と認める書類

④

増改築等工事証明書		
証明申請者	住所	
氏名		
家屋番号及び所在地		
工事完了年月日		
第26条第21項に規定する工事の種別	第1号工事	1 増築 2 改築 3 大規模の修繕 4 大規模の模様替
	第2号工事	1 床の過半の修繕又は模様替 2 階段の過半の修繕又は模様替 3 間仕切壁の過半の修繕又は模様替 4 壁の過半の修繕又は模様替
	第3号工事	次のいずれかの一室の床又は壁の全部の修繕又は模様替 1 居室 2 調理室 3 浴室 4 便所 5 洗面所 6 納戸 7 玄関 8 廊下
	第4号工事	次の規定又は基準に適合させるための修繕又は模様替 1 建築基準法施行令第3章及び第5章の4の規定 2 地震に対する安全性に係る基準
	第5号工事	高齢者等が自立した日常生活を営むのに必要な構造及び設備の基準に適合させるための次のいずれかに該当する修繕又は模様替 1 通路又は出入口の拡幅 2 階段の勾配の緩和 3 浴室の改良 4 便所の改良 5 手すりの取付 6 床の段差の解消 7 出入口の戸の改良 8 床材の取替
	第6号工事	エネルギーの使用の合理化に著しく又は相当程度資する次のいずれかに該当する修繕又は模様替 1 窓の断熱性を高める工事 2 窓の断熱性を相当程度高める工事 3 窓の断熱性を著しく高める工事 4 天井等の断熱性を高める工事 5 壁の断熱性を高める工事 6 床等の断熱性を高める工事
地域区分	1 I地域 2 II地域 3 III地域 4 IV地域 5 V地域 6 VI地域	
改修工事前の住宅が相当する省エネルギー対策等級	1 等級3 2 等級2 3 等級1	
第26条の4第3項に規定する改修工事(高齢者等居住改修工事等)	高齢者等が自立した日常生活を営むのに必要な構造及び設備の基準に適合させるための次のいずれかに該当する増築、改築、修繕又は模様替 1 通路又は出入口の拡幅 2 階段の勾配の緩和 3 浴室の改良 4 便所の改良 5 手すりの取付 6 床の段差の解消 7 出入口の戸の改良 8 床材の取替	
第26条の4第7項に規定する改修工事(特定断熱改修工事等)	エネルギーの使用の合理化に著しく又は相当程度資する次のいずれかに該当する増築、改築、修繕又は模様替 1 窓の断熱性を高める工事 2 窓の断熱性を相当程度高める工事 3 窓の断熱性を著しく高める工事 4 天井等の断熱性を高める工事 5 壁の断熱性を高める工事 6 床等の断熱性を高める工事	
地域区分	1 I地域 2 II地域 3 III地域 4 IV地域 5 V地域 6 VI地域	
改修工事前の住宅が相当する省エネルギー対策等級	1 等級2 2 等級1	

見本

第26条の28の5第9項に規定する改修工事	エネルギーの使用の合理化に資する次のいずれかに該当する増築、改築、修繕又は模様替 1 窓の断熱性を高める工事 2 天井等の断熱性を高める工事 3 壁の断熱性を高める工事 4 床等の断熱性を高める工事
	地域区分 1 I地域 2 II地域 3 III地域 4 IV地域 5 V地域 6 VI地域
第26条の28の5第11項に規定する設備の取替又は取付け	太陽光の利用に資する設備として設置された機器の設備の型式
安全対策工事の有無	有 無
陸屋根防水基礎工事の有無	有 無
積雪対策工事の有無	有 無
塩害対策工事の有無	有 無
幹線増強工事の有無	有 無
工事の内容	
摘要	

投資型はココ、建築士さんにあてはまる工事内容に○をしてもらおう



### 発行/建築士事務所所属する建築士、指定確認検査機関、登録住宅性能評価機関 増改築工事証明書発行に必要な書類【投資型・ローン型所得税減税】

- ①増改築等の工事を行った家屋の登記事項証明書
- ②工事請負契約書(増改築工事の費用の領収書、増改築工事の前後の状況写真、設計図書等で代えることも可)
  - ・省エネ改修の工事費用の額が30万円超であることを証明できる内訳書、領収書も必要。
  - ・省エネ改修の工事費用以外の工事も併せて行なった場合、共通経費(養生費、資材運搬費、引渡し清掃費等)が含まれる時は按分。

### 確定申告に必要な書類【投資型・ローン型所得税減税】

※納税先の税務署窓口にお問い合わせください。

- ①増改築等工事証明書
- ②控除を受ける金額の計算に関する明細書
- ③登記事項証明書(その他家屋の床面積が50㎡以上であることを明らかにする書類)
- ④増改築等工事の請負契約書(その他増改築等年月日及び費用の額を明らかにする書類)
- ⑤控除を受けようとする者の住民票の写し



窓ガラスで守る地球の未来  
<http://www.ecoglass.jp/>

板硝子協会 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番1号 新国際ビル2階 TEL.03-3212-8631  
<http://www.itakyo.or.jp>

「エコガラス」のご購入、商品詳細につきましては、下記の板硝子協会会員各社へお問合せください。

### AGC 旭硝子のエコガラス

<http://www.asahiglassplaza.net>  
TEL.0570-001-555 (カスタマーセンター)  
受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:00  
(土曜・日曜・祝日は休業いたします)

サンバランス  
サンバランスセキュリティー  
セキュレサンバランス  
マイミュートサンバランス  
ペヤプラス

### NSG 日本板硝子のエコガラス

<http://ecology-glass.jp/>  
TEL.0120-498-023 (日本板硝子お客様ダイヤル)  
受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:30  
(土曜・日曜・祝日は休業いたします)

ペアマルチスーパー  
ペアマルチレイボーク  
ペアマルチLow-E  
スペーシア  
スペーシア静  
スペーシア守  
スペーシア21  
セキオペア  
(高断熱タイプ)  
(遮熱高断熱タイプ)  
パイロペア  
(高断熱タイプ)  
(遮熱高断熱タイプ)  
レイボーク光

### セントラル硝子のエコガラス

<http://www.cg-glass.jp/ecoglass/>  
TEL.0120-271-219 (お客様相談窓口)  
受付時間: 10:00~12:00 13:00~16:00  
(土曜・日曜・祝日は休業いたします)

ペアレックスツインガード  
ペアレックスヒートガード  
ペアレックスヒートガードG  
ペアレックスソネスーエコタイプ  
スーパーペアレックスM-エコタイプ  
スーパーペアレックスK-エコタイプ  
窓ンナ